

“なるほど” サ・テニス (オ8回)

技術部長 武谷直也

グラウンドストローク (スピンについて)

エリマキ君の録画した、今年の全体の試合をテッコ嬢も興味を持って見ました。男子決勝のグイラントル対レンドルの試合を見たエリマキ君、ういえば、“なるほど” サ・テニス (4回) にトップスピンの優位性が述べられていたの思い出しながら、すっかりトップスピン打法に魅せられてしまいました。

テッコ嬢はといえど、女子決勝のエバート対ナブラウワの試合を見て、ナブラウワのオールラウンドプレーに魅惑を感じながらも、あの筋肉モリモリが好きになれず、ふくらみを持ったエバートの正確な打法を身につけたいなと思いました。さて、皆さんはいかがですか。スピンの打球について今一度考察しておきましょう。

ラケット面が安定していることを条件に、強打すればそれだけボールの方向づけが正確になるとの結論から、トップスピン打法が有利だと先に述べましたが、これは物理学からの帰結であって、誰もが実際にそうできるということの意味しているわけではありません。彼等のネットの上数十cmを通過する弾道の低い強打のトップスピンボールのバウンド地点は、ベースラインの内側! 2~3mとあまり深くないことが多かったのに気付かれたことでしょう。そして、深いのは、ネットのニスへ3mを通過する高い弾道のトップスピンを打った時でした。

彼等のような力強い君でもこうなのですから、ましてやエリマキ君においておやといえましょう。そうです。強打している割にはボールにスピードがなく、かつ短くなることが多くなるということ、深くしようとすると滞空時間の長い高い弾道のボールになって相手に余裕を持って追いつかれてしまうという結果が目に見えるようです。

もう一つ、彼等のフアの大半の場合、両足がネットにはほぼ平行のオープンスタンスで打球し、打球直後に体重が上方ないしは後方に移動しているのに気付かれたことでしょう。ボールを引きつけて打つトップスピン打法ではこれが一般的です。このことは、打球後のネットへのオーパスが遅れること、数十cm程の前足の踏み込みがない分、後方で打球することになりますので、相手にその分移動のゆとりを与えるなど不利な結果を招ねます。しかし、ネット附近にバウンドした短いボールを角度をつけてエースをねらう場合には、だんぜん

有利に早がわりします。(この項づく)

問9. ダブルスコートにシングルスタイワウをたて、シングルスを行うのが普通です。さて、テッコ嬢の打球がダブルスコートとシングルススタイワウの間のネットに当たって、エリマキ君のシングルスコートにポトンと落ちました。それ
前頁へ続く

私とテニス

本町クラブ

樋口善一

早いもので、テニスを始めて、はや六年たちました。そもそも、テニスには、美智子さんと皇太子のロマンス以来関心は有りましたが、何か、高級な遊びで、自分には縁遠い存在でした。たまたま、栄町体力づくりの方が、テニスバッドなるものをやらないかと、誘って下さり、それが結構汗をかき、楽しく、一年位やりました。テニスバッドも楽しくあったのですが、テニスなら、もっと本格的なスポーツではないかと思ひ、当時、運動公園でプレーをしていた、会長の柳さんに頼み、“市民テ”に入れて戴いた次第です。

簡単だと思っていたテニスも、やって見ると、むずかしく、球出しをしてもらっても、空振り連続で、自分の運動神経の悪さを改めて知らされた毎日でした。最近ようやく、試合も出来る様になり、土日の来るのが、待ち遠しく、毎日の仕事にも張りが出て、一週間も、すぐ過ぎています。息子にも、高校に入った折、テニス部へ入る事を勧め、本人も夢中になってやり、結構精神的にも、体力的にもプラスになったと思ひます。自分が高校時代、勉強もせず、遊びもせず、たゞ、時間を無駄に過ごした様な気がするので、自分の子供達には、何かに熱中し、時間が足りない様な青春時代を過ごさせたいと、思っています。

家で、金物屋をやっているもので、皆さんの様に、一日たっぷりテニスをやりたいのですが、三時間位が精一杯で、行事にも、なかなか出れず申し訳ないと思っています。又、テニスを通して、色々な人、特に年配の人とか、色々な職業に携っている人などの経験談などを、語り合せて、今まで知らなかった事や、考え方なども、教えて貰い、大変勉強になったと思ひます。若し、自分にとって、テニスとの出会いがなかったら、こんな楽しい人生がなかったと思ひます。これから、体の続く限り、一生続けて行きたいと思ひますので、皆さん、よろしく、お付き合いの程お願い致します。